

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなると、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	全職員の身体拘束についての意識が薄い。	身体拘束を職員全員が、より深く理解する。	職員の中で拘束委員を作り、月1回の会議の中で話し合っていく。また、研修への参加強化。	6か月
2	14	人権研修・啓発活動への勉強会や研修が少ない。	年間を通してスタッフ全員が学べるようにする。	行政等で行われている研修・勉強会、または講師を招いて勉強会を開催する。	1年間
3	35	終末期(看取り)の実践対応がまだない。	職員全員が理解・対応できるようにする。	看取りの理解・対応できるような勉強会を増やしていく。	6か月
4	36	緊急時の対応に不安がある。	不安なく敏速な対応ができるようにする。	マニュアルの見直しや講習会・勉強会へ定期的に参加していく。	6か月
5	50	入居者一人ひとりに対して、支援が充実していない。	家族の協力を得ていきながら笑顔を増やしていく。	家族の理解が今以上に得られるように、連絡・声掛けをしながら、入居者一人ひとりに合った対応・接し方を全職員で見直しながら実践していく。	6か月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。